

山科盆地を歩いてみよう!

東ブロック 三条通以南・外環状線以東・新幹線以北

昔



29-029



音羽山山頂から (山科盆地西を望む)

►音羽山山頂付近から西方に広がる山科盆地です。右に「く」の字型に見えるのは昭和8年に開通した京津国道(三条通)。中央の森は音羽の竹やぶ。右下の傾斜方向にそく黒っぽい直線状の土手は、旧東海道線の線路跡で、現在の名神高速道路です。(昭和11年、小山農場)



▲下の写真を撮りに行った登頂記念。

エリアコラム
由緒ある歴史

大蛇伝説

牛尾山に宿る山の神は大蛇とされ、昔の人々は山の神を祀る行事を古くから受け継いでいました。フラを大蛇の形に編み、白石神社の宮司が祈禱を捧げ、小山中島町にある2本の杉の木に掛けて祀る「二九(にのこう)」が、今も小山の人たちによって、毎年2月9日に行われています。



27-008



▲平成18年。「二九」当日、葉け替えの様子。



今

国道1号(京都東インター付近から北を望む)

►奈良街道と国道1号の交差点から北方を写したもの。前方右へ延びる道は名神高速道路のインターチェンジです。中央左は地下横断歩道の入口。手前中央から左へ延びる路道が奈良街道です。現在は建物が立ち並び、山がほとんど見えません。(昭和39年、音羽前田町)



昔

1-024

音羽山山頂から (山科盆地西を望む)

►音羽山山頂付近から西方に広がる山科盆地です。右に「く」の字型に見えるのは昭和8年に開通した京津国道(三条通)。中央の森は音羽の竹やぶ。右下の傾斜方向にそく黒っぽい直線状の土手は、旧東海道線の線路跡で、現在の名神高速道路です。(昭和11年、小山農場)



音羽山山頂 (山山地域から 東南を望む)

►牛尾登山口へと続く道。牛尾山は笠山としても有名で、昔から参拝者が訪れ、この集落も古くからありました。右側の段差は埋め立てられましたが、山の重なり具合で現在と比較できます。(昭和45年頃、小山小川町)



今

4-197

山山の釣堀 (名神高速道路東側)

▼農業用の溜め池。前方の土手は旧東海道線の線路跡で現在の名神高速道路です。池は長期間釣り堀でしたが近年埋め立てられました。(昭和30年頃、小山姫子町)



27-007

今

ゴルフ道 (山科トップセンター前から南方を望む)

▼現トップセンター前のゴルフ道から南を望んでいます。道の両側に生い茂る竹やぶの辺りが現山科川になります。着物姿の2人は姉と弟。お父さんが向けるカメラになんとも可愛らしいポーズ! 今の写真で真似してみました。(昭和19年頃、音羽野田町)



1-017



今

4-044

エリアコラム 街道を歩く 奈良街道 と東海道の分岐点

大津から宇治方面へ向かう奈良街道と、京都方面へ向かう京街道(東海道)との分岐点がここ龍茶屋敷町。撮影当時でさえ、一番古い道標は半分以上土に埋もれています。現在はアスファルトになっていますが、埋もれた道標は同じように建っています。

昔の写真は昭和45年頃。大きい道標「みぎは京みちひざりは伏見みち」、小さい道標「瀬戸上人 龍茶道」、相当古そう。

エリアコラム
有名なお寺や神社

牛尾観音 法嚴寺



清水寺の奥の院。本山修験宗の寺院。奈良時代に修験の場として開かれました。平安時代に牛の疫病が大流行し、見かねた僧が法嚴寺で祈禱を捧げると験が治ったといいます。写真是平成17年の紅葉の頃です。

ゴルフ道 (筋道橋から北を望む)

▼丁ヶ道の四ノ宮川に架かる筋道橋。女性のもんべ姿が懐かしいですね。道の先の右手に見えている高い塀の裏敷は大野木邸、現在の山科洛東道賓館です。(昭和30年代、竹鼻堂ノ前町)



1-036



今



今

4-044